

令和5年度第2回健康ちば21（第3次）計画策定作業部会 結果

- 1 日 時 令和5年10月25日（水） 午前9時30分から午前11時30分まで
- 2 場 所 千葉県教育会館305会議室
- 3 出席者等 委員11名、事務局8名

計19名

4 議題

（1）協議事項

- ①健康ちば21（第3次）の素案について
- ②健康ちば21（第3次）の目標値の設定について
- ③今後の健康づくり施策の検討について

5 委員からの意見

- CKDの指標で、「 $45 \leq eGFR < 60$ (ml/分/1.73m²) かつ尿蛋白(一) (=保健指導2)」のみとなっているが、「 $45 \leq eGFR$ (ml/分/1.73m²) かつ尿蛋白(±) (=保健指導1)」も含めた方が良いのではないか。
- 「たばこを吸い始めた年齢が20歳未満の者の割合」を指標としてみても、喫煙をやめない高齢層が残るため、現在20歳代までの回答結果にしぼって算出してはどうか。
- 平均寿命は着実に延びていても、健康寿命が延びなければこの2つはかい離してしまうため、県民に向けて分かりやすい評価方法を決めても良いのではないか。
- 国が就学前からの運動習慣が重要としているため、親世代への普及啓発をとおし、親世代とこどもの両方にアプローチすると良いのではないか。
- 父親の生活習慣もこどもに影響するため、計画の中に子育て世代の男性（父親）への視点についても入れてはどうか。
- 子育て世代の健康づくりに併せて、ワークライフバランスの文言を入れてみてはどうか。
- 長期計画では計画全般の表記として、和暦は経過年数の把握には非効率かつ不相当と思われるため、年や年度の表記を西暦で統一するか、西暦（和暦）のようにするのはどうか。
- 地域の関連機関という表記に具体的な機関や組織名を入れた方が良いのではないか。
- 一次予防と環境づくりは両輪のため、分断しないように取り組んでほしい。
- 目標に具体的な数値がない指標については、「改善」や「悪化」の定義や評価方法を事前に定めておく方が良いのではないか。